

# 5年ぶり！もうすぐ開花



花の谷 2018年7月13日撮影

淡路島国営明石海峡公園では今、数十年の生涯の最後に一度だけ咲く花“アオノリュウゼツラン（青の竜舌蘭）”がもうすぐ開花します。開花すれば園内では、5年ぶりとなり、お花は8月上旬頃までご覧いただけます。

5月中旬から花茎を伸ばしはじめ、現在2株が8mほど成長して、枝分かれしたたくさんのつぼみが膨らんでいます。

当公園では、これまで別の株が5回開花し今回で6回目。前回開花が確認されたのは2013年7月で、約8mまで成長しましたが、開花直後に強い雨風の影響で倒れてしまいました。

淡路島国営明石海峡公園の「アオノリュウゼツラン」を是非ご紹介くださいますようお願いいたします。

## お問い合わせ先

明石海峡公園管理センター 佐藤・瀧本

TEL: 0799-72-2000 FAX: 0799-72-2100

ホームページ: <http://www.awaji-kaikyopark.jp/> 最新情報は“明石海峡公園”で検索。

この資料や画像はメールでお送りできますのでお問い合わせください。

アオノリュウゼツラン

アオノリュウゼツラン

もうすぐ咲きそう！

竜の舌みたいな葉



メキシコ原産。リュウゼツラン科リュウゼツラン属の常緑多年生多肉植物。

# ★ アオハリュウゼツラン 3つのヒミツ ★

## その① なまえの ヒミツ

- リュウゼツラン**…葉を竜の舌にたとえて“竜舌蘭”と書きます。近くで見ていると「竜の舌こんな感じかも」と思うような葉の形。
- アオノ(青の)**…日本に先に入ってきた斑入りの「リュウゼツラン」に対して、斑のない緑のものなので“アオノ(青の)”がつけられたそう。⇒「アオノ」+「リュウゼツラン」=「アオノリュウゼツラン」なるほど～
- 中国名では**万年蘭**、英語では**センチュリープラント(百年植物)**…成長がゆっくりなので「100年に一度咲く」という誤認識からこう呼ばれていますが、実際は、熱帯地域では10～20年、日本では30～50年で花が咲きます。

## その② 葉っぱの ヒミツ



- 巨大アロエみたいな葉は、幅20cm・長さ1-2mほど、1株に約20-30枚あります。
- 縁はやや波状でトゲがあります。葉の先もとがっていてさわると痛いっ！近づくときは要注意。
- 最初は指でつまめるほどの小さいサイズですが、葉も株もゆっくり時間をかけて成長し、一枚の葉っぱの横幅が手のひらより大きいくらいになります。(写真は、それぞれ別の株です。)

## その③ 成長の ヒミツ

枝わかれ

つぼみ



5/31(約4メートル)  
花茎発見！まるで巨大アスパラ。



6/7(約5メートル)  
どんどん成長。枝分かれ発見！



7/9(約8メートル)  
蕾もついてもうすぐ咲きそう！

そして今  
1ページへ

⇒そして花が  
咲き終わったら…

**一度咲いた後は、枯れてしまいます。**  
このとき、根元に小さな株を残します。  
一度で枯れてしまうなんて、さみしい気がしますが、小さな株たちがしっかり育っていますよ♪  
～親株から子株へ“いのち”のリレー～